

事務事業評価シート(概要説明書)

第4次総合計画 の位置づけ	政策名	基本施策名	NO	施策の展開方向
	⑤コンパクトで居心地のよい まちづくり	①住環境	1	便利な暮らしを支えるまちづくりの推 進
事業名	地域計画事業	担当課名	都市づくり政策課	

【事業の概要】

(事業の目的・趣旨)

都市の健全な発展と秩序ある整備を図るため、土地利用、都市施設の整備及び良好な市街地の形成に関する計画等の策定を目的とする。

(事業概要等)

都市計画に決定・変更及び都市計画審議会の開催。
都市計画に関する方針の策定。
都市計画に関する縦覧用図面、販売用市域図、地形図及び都市計画図の作成。
各種計画の策定に向けた検討

【事業費】

項目／年度	H30 (決算額)	R01 (決算額)	R02 (決算額)	R03 (予算額)	備考
事業費総額(千円)	4,079	27,377	1,857	15,401	R3予算額には、R2の繰 越額を含む
うち市負担分(千円)	4,079	18,477	1,857	12,201	

【事業実績・成果】

事業実績(活動指標)・成果(成果指標)	単位	H30年度 実績値	R01年度 実績値	R02年度 実績値	R03年度 目標値
用途地域の変更	地区	-	8	-	-
各種計画の策定	件	-	1	-	1
地形図の修正	地区	-	-	1	1

(指標を設定できない理由)

都市計画に係る地域地区の指定や変更及び計画策定に関する事業であるため、成果の数値化は困難である。

(成果の概要)

現在の地形図は、現状と異なる箇所があるため、現状の土地利用の状況や都市施設の整備状況に合わせた修正を加え、更新を行った。
また、人口減少・少子高齢化への対応を見据え、集約型都市構造やウォーカブルな都市を目指し、泉大津市総合交通戦略の策定に向けた検討を行った。

【これまで実施した事務の見直し点】

直近の改善点	
--------	--

【課題(問題点)】

課題(問題点)	
---------	--

【今後の方向性】

担当課の評価	A 現行どおり	(左記評価の理由) これまでどおり、住みよいまちづくりを実現するために、法定都市計画基礎調査や必要に応じた都市計画の変更及び必要な計画策定に向けた検討を実施していく必要がある。
	改革・改善策等の具体的内容	

事務事業評価シート(概要説明書)

第4次総合計画 の位置づけ	政策名	基本施策名	NO	施策の展開方向
	⑤コンパクトで居心地のよいまちづくり	①住環境	2	良好な市街地の整備

事業名	景観形成誘導事業(景観市民会議「景観人の集い」)	担当課名	都市づくり政策課
-----	--------------------------	------	----------

【事業の概要】

(事業の目的・趣旨)

市民一人ひとりが景観を育てる主人公になれるよう「景観人の集い」を設置し、市内の景観を親しみと愛着と誇りあるものとし、ゆとりとうるおいのある景観まちづくりの実現を図る。

(事業概要等)

景観市民会議「景観人の集い」の事務局として活動の支援を行う。

【事業費】

項目／年度	H30 (決算額)	R01 (決算額)	R02 (決算額)	R03 (予算額)	備考
事業費総額(千円)	33	33	4	68	
うち市負担分(千円)	33	33	4	68	

【事業実績・成果】

事業実績(活動指標)・成果(成果指標)	単位	H30年度 実績値	R01年度 実績値	R02年度 実績値	R03年度 目標値
歴史こぼれ話の開催(景観人の集い活動実績)	回	3	1	0	-
絵のあるまちづくり(景観人の集い活動実績)	箇所	1	1	0	-
マップの作成・パネル展	回	1	1	1	-

(指標を設定できない理由)

市民主体の景観に対する取り組みの事務局支援であり、成果の数値化は困難である。

(成果の概要)

これまで行ってきた歴史的な景観を再発見しマップを作成し、それをパネル展示等により広く市民に紹介する活動に加え、公共施設を活用し、地域の子どもたちと一緒に壁画を描くことで、まちの景観を「守る心」「育てる心」を育む試みも開始するなど、その活動の幅を広げている。令和2年度は、新型コロナウイルス感染症の影響により、活動が減少しており、令和3年度も同様の見込みである。

【これまで実施した事務の見直し点】

直近の改善点	
--------	--

【課題(問題点)】

課題(問題点)	景観形成活動の醸成により、景観に関する活動以外へ活動の域が広がっていくことも見据え、今後、事務局として庁内の横断的な調整が必要となる。
---------	---

【今後の方向性】

担当課の評価	A 現行どおり	(左記評価の理由) 景観は、魅力あるまちづくりの要因の一つであり、市域の良好な景観形成のためには、市民の景観に対する意識醸成が必要となる。そのために、今後も続けていく必要がある。
	改革・改善策等の具体的内容	

事務事業評価シート(概要説明書)

第4次総合計画 の位置づけ	政策名	基本施策名	NO	施策の展開方向
	⑤コンパクトで居心地のよい まちづくり	①住環境	2	良好な市街地の整備
事業名	住居表示整備事業	担当課名	都市づくり政策課	

【事業の概要】

(事業の目的・趣旨)

従来の町名地番による住所の表示方法がわかりにくく、市民生活や企業活動に障害が生じるため、住居を表示する方法を合理的に定め、不便をなくし、住みよいまちづくりを目指すこと。

(事業概要等)

住居や事務所等の施設の所在する場所を、合理的な住居表示の方法によって定める。

【事業費】

項目／年度	H30 (決算額)	R01 (決算額)	R02 (決算額)	R03 (予算額)	備考
事業費総額(千円)	236	198	217	251	
うち市負担分(千円)	236	198	217	251	

【事業実績・成果】

事業実績(活動指標)・成果(成果指標)	単位	H30年度 実績値	R01年度 実績値	R02年度 実績値	R03年度 目標値
住居表示プレートの発行件数	件	180	226	299	-

(指標を設定できない理由)

新築届けがあった場合に住居表示を付番する事業であるため、目標値を設定することは困難である。

(成果の概要)

新築届のあった住宅に付番通知書と住居表示プレートを発行し、転入・転居時の居住地確認を円滑にし、登記簿等の変更時に必要となる住居表示証明書を発行している。

【これまで実施した事務の見直し点】

直近の改善点	新築等による住居番号の届出の際に、窓口での待ち時間を短くするため、また、単純に付番しにくい場合等があるため、あらかじめ、開発指導係に建築確認や開発の届出のあったものを確認し、付番の予定やプレートの発注を行っている。また、付番状況を市民課などでも随時、確認できるように共有フォルダへデータ化し保存している。
--------	--

【課題(問題点)】

課題(問題点)	新たに本市に建物を新築し住民登録を行う場合、本課において住居番号届出書の提出を行い、新築建物への付番を行った後に、市民課において住民登録を行わなければならないので、市民にとっては2段階の申請が必要となる。
---------	--

【今後の方向性】

担当課の評価	A 現行どおり	(左記評価の理由) 実施済の区域では、これまでどおり、不便をなくし、住みよいまちづくりを行うため、付番通知書及び住居表示プレートの発行を行い、未実施区域については、住民合意の形成された地域から順次住居表示を実施する必要がある。
改革・改善策等の具体的内容		

事務事業評価シート(概要説明書)

第4次総合計画 の位置づけ	政策名	基本施策名	NO	施策の展開方向
	⑤コンパクトで居心地のよい まちづくり	①住環境	4	市民参加によるまちづくりの推進
事業名	まちづくり運営事業	担当課名	都市づくり政策課	

【事業の概要】

(事業の目的・趣旨)

泉大津の風土と文化を活かしたうるおいと活力のあるまちづくりを、市民の自発的なまちづくり活動によって推進するための環境を整える。

(事業概要等)

市民のまちづくり会議や女性まちづくり会議に対して、まちづくり事業や計画を策定するため、多様な情報提供等を行うとともに市民の自主的なまちづくりを推進するための環境を整える。

【事業費】

項目／年度	H30 (決算額)	R01 (決算額)	R02 (決算額)	R03 (予算額)	備考
事業費総額(千円)	311	311	44	322	
うち市負担分(千円)	311	311	44	322	

【事業実績・成果】

事業実績(活動指標)・成果(成果指標)	単位	H30年度 実績値	R01年度 実績値	R02年度 実績値	R03年度 目標値
まちづくり会議開催回数	回	12	8	4	-

(指標を設定できない理由)

市民の自発的なまちづくりに関する取り組みを支援するものであるため、目標の数値化は困難である。

(成果の概要)

魅力あるまちづくり事業を策定する上で、各地区の風土、文化や景観等の視点から取り組みが行われている。令和2年度は、新型コロナウイルス感染症の影響により、活動が減少しており、令和3年度も同様の見込みである。

【これまで実施した事務の見直し点】

直近の改善点	
--------	--

【課題(問題点)】

課題(問題点)	
---------	--

【今後の方向性】

担当課の評価	A 現行どおり	(左記評価の理由) 今後も定期的にまちづくり会議を開催していくため。
	改革・改善策等の具体的内容	

事務事業評価シート(概要説明書)

第4次総合計画 の位置づけ	政策名	基本施策名	NO	施策の展開方向
	⑤コンパクトで居心地のよい まちづくり	①住環境	4	市民参加によるまちづくり

事業名	まちづくり事務所維持管理事業	担当課名	都市づくり政策課
-----	----------------	------	----------

【事業の概要】

(事業の目的・趣旨)	市内南海本線三駅周辺のまちづくりを進めていくため、市民と行政が一体となってまちづくりの実現に向け議論する場として、まちづくり会議を支援するためのまちづくり事務所を維持管理する。
(事業概要等)	まちづくりの拠点として、まちづくり事務所を設置。北助松駅周辺地区及び泉大津駅西地区まちづくり事務所は、市が維持・管理を行い、貸し出しについては、北助松駅周辺は地元自治会に依頼、泉大津駅西地区は、市で行っている。

【事業費】

項目／年度	H30 (決算額)	R01 (決算額)	R02 (決算額)	R03 (予算額)	備考
事業費総額(千円)	560	560	590	634	
うち市負担分(千円)	560	560	590	634	

【事業実績・成果】

事業実績(活動指標)・成果(成果指標)	単位	H30年度 実績値	R01年度 実績値	R02年度 実績値	R03年度 目標値
事務所使用人数	人	8,553	7,865	2,516	2,500
使用回数	回	330	272	131	130
(指標を設定できない理由)					
(成果の概要)					
まちづくり事務所は、市内南海本線三駅周辺地区の住民主導の駅周辺地区まちづくり構想の作成など、地域整備の円滑な推進を図っている。令和2年度は、新型コロナウイルス感染症の影響により、使用実績は大幅に減少しており、令和3年度も同様の見込みである。					

【これまで実施した事務の見直し点】

直近の改善点	公共施設適正配置基本計画に基づき、松之浜駅前周辺地区まちづくり事務所の地域移管を令和3年度より実施
--------	---

【課題(問題点)】

課題(問題点)	
---------	--

【今後の方向性】

担当課の評価	B 改善し継続	(左記評価の理由) 当初目的としての使用は少なくなっているが、市民団体などの活動の場としては、広く使用されており、まちづくり事務所の位置づけ及び代替施設について検討が必要。また、地域移管に向けた検討が必要。
改革・改善策等の具体的内容	公共施設適正配置基本計画に基づく地域移管の検討	

事務事業評価シート(概要説明書)

第4次総合計画 の位置づけ	政策名	基本施策名	NO	施策の展開方向
	⑤コンパクトで居心地のよいまちづくり	③環境保全	4	地球環境の保全
事業名	環境体験学習推進事業(都市づくり政策課)		担当課名	都市づくり政策課

【事業の概要】

(事業の目的・趣旨)

身近な環境を守り未来につながるまちをめざし、間伐材を用いたベンチづくり体験を行い、公園に設置することにより、森林環境保全及び環境意識の向上と公園への愛着を抱いてもらうことを目的とする。

(事業概要等)

間伐材を用いたベンチづくり体験を実施し、公園に設置する。

【事業費】

項目／年度	H30 (決算額)	R01 (決算額)	R02 (決算額)	R03 (予算額)	備考
事業費総額(千円)	167	172	213	252	
うち市負担分(千円)	0	0	0	0	

【事業実績・成果】

事業実績(活動指標)・成果(成果指標)	単位	H30年度 実績値	R01年度 実績値	R02年度 実績値	R03年度 目標値
体験学習参加者数	人	20	9	11	20
ベンチ製作数	基	10	10	10	10
(指標を設定できない理由)					
(成果の概要)					
事業を通じ、参加者の環境意識の向上を図ることができた。					

【これまで実施した事務の見直し点】

直近の改善点	松ノ浜グリーンフェス内で実施することにより、参加者以外の方にも森林環境の啓発を行うことができた。
--------	--

【課題(問題点)】

課題(問題点)	
---------	--

【今後の方向性】

担当課の評価	A 現行どおり	(左記評価の理由) 森林環境保全及び環境意識の向上と後編への愛着を抱いてもらうため、事業を継続する必要がある。
改革・改善策等の具体的内容		

事務事業評価シート(概要説明書)

第4次総合計画 の位置づけ	政策名	基本施策名	NO	施策の展開方向
	⑤コンパクトで居心地のよい まちづくり	③環境保全	4	地球環境の保全

事業名	緑化推進記念樹等助成事業	担当課名	都市づくり政策課
-----	--------------	------	----------

【事業の概要】

(事業の目的・趣旨)
身近な環境を守り未来につながるまちをめざし、子どもの誕生を祝し、記念となる樹木を購入することについて、その一部を助成することにより、みどりに対して愛着を持ってもらい緑化の推進を図ることを目的とする。
(事業概要等)
子どもの誕生の記念となる樹木を購入することについて、その一部を助成する。

【事業費】

項目／年度	H30 (決算額)	R01 (決算額)	R02 (決算額)	R03 (予算額)	備考
事業費総額(千円)			22	1,000	
うち市負担分(千円)			0	0	

【事業実績・成果】

事業実績(活動指標)・成果(成果指標)	単位	H30年度 実績値	R01年度 実績値	R02年度 実績値	R03年度 目標値
助成件数	件			11	500
(指標を設定できない理由)					
(成果の概要)					
助成することにより、樹木の購入を後押しし、みどりに対しての愛着の向上と緑化の推進を図ることができた。					

【これまで実施した事務の見直し点】

直近の改善点	
--------	--

【課題(問題点)】

課題(問題点)	出生件数から比較すると助成の件数が少ない。制度の認知度の向上と手続きの簡素化が必要である。
---------	---

【今後の方向性】

担当課の評価	B 改善し継続	(左記評価の理由) みどりに対して愛着を持ってもらい緑化の推進を図る必要がある。
改革・改善策等の具体的内容	制度の認知度の向上のため、保健センターで実施している4か月児健康診査の際にチラシによる案内を実施する。また、手続きについて、オンラインで申請できる体制を構築する。	

事務事業評価シート(概要説明書)

第4次総合計画 の位置づけ	政策名	基本施策名	NO	施策の展開方向
	⑤コンパクトで居心地のよいまちづくり	③環境保全	4	地球環境の保全

事業名	剪定枝活用事業	担当課名	都市づくり政策課
-----	---------	------	----------

【事業の概要】

(事業の目的・趣旨)

身近な環境を守り未来につながるまちをめざし、ごみ処分量の減少と資源の再利用を図り環境保全に努める。

(事業概要等)

街路樹や公園等から発生した剪定枝等をリサイクルしたチップを、植樹帯等へ敷設し、雑草の抑制を図る。

【事業費】

項目／年度	H30 (決算額)	R01 (決算額)	R02 (決算額)	R03 (予算額)	備考
事業費総額(千円)	1,241	1,600	2,000	1,500	
うち市負担分(千円)	0	0	0	0	

【事業実績・成果】

事業実績(活動指標)・成果(成果指標)	単位	H30年度 実績値	R01年度 実績値	R02年度 実績値	R03年度 目標値
リサイクル量	t	146	124		
マルチング材敷設面積	m ²			504	350

(指標を設定できない理由)

(成果の概要)

ゴミの焼却量の減少及びリサイクルの推進に努めることができた。

【これまで実施した事務の見直し点】

直近の改善点	ゴミの焼却量の減少を図るため、市内の公園・街路樹等から発生した除草・剪定ゴミについてリサイクル施設への搬入を行ってきたが、令和2年度においては、マルチング材の敷設を実施した。
--------	---

【課題(問題点)】

課題(問題点)	
---------	--

【今後の方向性】

担当課の評価	A 現行どおり	(左記評価の理由) 市道全路線の植樹帯へ、マルチング材を敷設する計画であるため、継続して実施する。
改革・改善策等の具体的内容		

事務事業評価シート(概要説明書)

第4次総合計画 の位置づけ	政策名	基本施策名	NO	施策の展開方向
	⑤コンパクトで居心地のよいまちづくり	④道路・交通	①	安全な道路空間整備

事業名	小松町4号線道路改良事業	担当課名	都市づくり政策課
-----	--------------	------	----------

【事業の概要】

(事業の目的・趣旨)

小松町4号線の整備を行い、当該道路周辺地域と幹線道路とのアクセス向上を図るとともに、既設可動式防潮堤鉄扉を撤去し、安全性と維持管理性の向上を図るものである。

(事業概要等)

小松町4号線を対面通行化するため線形・拡幅改良を行い、併せて既設防潮堤鉄扉を撤去するため、道路を隆起させた構造として整備する。

【事業費】

項目／年度	H30 (決算額)	R01 (決算額)	R02 (決算額)	R03 (予算額)	備考
事業費総額(千円)		25	26,321	136,025	
うち市負担分(千円)		25	15,615	96,112	

【事業実績・成果】

事業実績(活動指標)・成果(成果指標)	単位	H30年度 実績値	R01年度 実績値	R02年度 実績値	R03年度 目標値
道路の整備率	%	-	0	6	36

(指標を設定できない理由)

(成果の概要)

小松町4号線等の道路および防潮堤の詳細設計を実施し、関係機関との協議を行った。

【これまで実施した事務の見直し点】

直近の改善点	特記事項なし
--------	--------

【課題(問題点)】

課題(問題点)	特記事項なし
---------	--------

【今後の方向性】

担当課の評価	A 現行どおり	(左記評価の理由) 詳細設計を踏まえて、アクセス向上と緊急時の安全性向上のために工事を発注する必要がある。
	改革・改善策等の具体的内容	特記事項なし

事務事業評価シート(概要説明書)

第4次総合計画 の位置づけ	政策名	基本施策名	NO	施策の展開方向
	⑤コンパクトで居心地のよいまちづくり	④道路・交通	① ②	安全な道路空間整備 都市計画道路の整備
事業名	泉大津駅西地区周辺整備事業		担当課名	都市づくり政策課

【事業の概要】

(事業の目的・趣旨)

泉大津駅西地区の活性化、歩行者・自転車の安全性向上、災害時避難路の確保、さらには景観の向上を図るために周辺整備を行う。

(事業概要等)

都市計画道路泉大津駅前通り線の整備、およびその周辺道路である泉大津臨海連絡線、松之浜大津川線、小松原通線における歩行者通行空間の整備を行う。

【事業費】

項目／年度	H30 (決算額)	R01 (決算額)	R02 (決算額)	R03 (予算額)	備考
事業費総額(千円)	42,950	75,123	232,706	307,122	
うち市負担分(千円)	25,550	27,840	144,133	215,046	

【事業実績・成果】

事業実績(活動指標)・成果(成果指標)	単位	H30年度 実績値	R01年度 実績値	R02年度 実績値	R03年度 目標値
泉大津駅前通り線事業用地の取得率	%	2	11	28	49
歩行者通行空間の整備率(670m)	%	46	100	-	-
(指標を設定できない理由)					
(成果の概要)					
都市計画道路泉大津駅前通り線は、平成29年度に事業計画認可を取得し、令和2年度は、物件調査を行って補償算定を実施するとともに、事業用地を取得した。 泉大津駅臨海連絡線と松之浜大津川線、菅原小松町線の歩行者通行空間は、令和元年度に整備が完了した。					

【これまで実施した事務の見直し点】

直近の改善点	特記事項なし
--------	--------

【課題(問題点)】

課題(問題点)	国庫補助金および事業費の確保
---------	----------------

【今後の方向性】

担当課の評価	A 現行どおり	(左記評価の理由) 都市計画道路泉大津駅前通り線は、事業計画認可期間である令和6年度末までに整備が完了するよう事業を進める必要がある。
改革・改善策等の具体的内容	特記事項なし	

事務事業評価シート(概要説明書)

第4次総合計画 の位置づけ	政策名	基本施策名	NO	施策の展開方向
	⑤コンパクトで居心地のよい まちづくり	⑤公園・緑地・河川	1	公園一つひとつの特徴を活かした再 整備
事業名	プール施設整備事業	担当課名	都市づくり政策課	

【事業の概要】

(事業の目的・趣旨)

人の集う公園・緑・水辺のあるまちをめざし、市営プールの施設改修・補修等を行い、利用者にとって安全な状態での開場を目的とする。

(事業概要等)

プール施設の補修等を実施する。

【事業費】

項目／年度	H30 (決算額)	R01 (決算額)	R02 (決算額)	R03 (予算額)	備考
事業費総額(千円)	1,969	2,231	1,793	5,289	
うち市負担分(千円)	1,969	2,231	1,793	0	

【事業実績・成果】

事業実績(活動指標)・成果(成果指標)	単位	H30年度 実績値	R01年度 実績値	R02年度 実績値	R03年度 目標値
整備不良による休業日数	日	0	0	0	0
整備不良による重大な事故	件	0	0	0	0
(指標を設定できない理由)					
(成果の概要)					
施設の整備不良が原因となる怪我や事故を未然に防ぐことができた。					

【これまで実施した事務の見直し点】

直近の改善点	
--------	--

【課題(問題点)】

課題(問題点)	施設の老朽化が顕著であり、プールの安定的な運営のためには、施設の老朽化対策やろ過機等の機械類の大規模な改修が必要な状況である。
---------	---

【今後の方向性】

担当課の評価	A 現行どおり	(左記評価の理由) 施設等の老朽化が顕著であり、大規模な改修が必要な状況であるが、当面の間、修繕等の部分改修により、施設の維持に努める。
	改革・改善策等の具体的内容	

事務事業評価シート(概要説明書)

第4次総合計画 の位置づけ	政策名	基本施策名	NO	施策の展開方向
	⑤コンパクトで居心地のよい まちづくり	⑤公園・緑地・河川	1	公園一つひとつの特徴を活かした再 整備
事業名	公園維持管理事業	担当課名	都市づくり政策課	

【事業の概要】

(事業の目的・趣旨)

人の集う公園・緑・水辺のあるまちをめざし、市民の憩いの場となる公園を安全・安心に利用できるように、適正な維持管理に努めることを目的とする。

(事業概要等)

市管理公園及び広場の清掃、遊具点検、トイレ清掃等を行うとともに、施設の修繕等を実施する。

【事業費】

項目／年度	H30 (決算額)	R01 (決算額)	R02 (決算額)	R03 (予算額)	備考
事業費総額(千円)	35,040	42,330	35,352	40,042	
うち市負担分(千円)	31,783	38,598	35,113	20,803	

【事業実績・成果】

事業実績(活動指標)・成果(成果指標)	単位	H30年度 実績値	R01年度 実績値	R02年度 実績値	R03年度 目標値
専門業者による遊具点検	回	0	2	2	1
施設の整備不良による重大な事故	件	0	0	0	0
(指標を設定できない理由)					
(成果の概要)					
専門業者による遊具点検並び施設の修繕等を適切に実施することにより重大な事故を未然に防ぐことができた。					

【これまで実施した事務の見直し点】

直近の改善点	公園等の見回り、樹木剪定、除草、清掃、トイレ清掃等について、別々に発注をおこなっていたが、包括的に委託発注することにより事務作業の減を図ることができた。
--------	--

【課題(問題点)】

課題(問題点)	遊具及び建築物等の公園施設については、老朽化が顕著であり、安全確保の観点から改修等の対応をより進めていく必要がある。
---------	--

【今後の方向性】

担当課の評価	A 現行どおり	(左記評価の理由) 公園の適正な維持管理を行うため、今後も清掃や見回り等の日常的な作業を実施していくとともに、遊具等の公園施設の点検及び修繕を実施する必要がある。
改革・改善策等の具体的内容		

事務事業評価シート(概要説明書)

第4次総合計画 の位置づけ	政策名	基本施策名	NO	施策の展開方向
	⑤コンパクトで居心地のよいまちづくり	⑤公園・緑地・河川	1	公園一つひとつの特徴を活かした再整備
事業名	公園施設整備事業	担当課名	都市づくり政策課	

【事業の概要】

(事業の目的・趣旨)

魅力的なまちづくりの一環として、老朽化した公園施設の更新及び公園の再整備を行い、より多くの市民が安心して楽しめる地域の特色を活かした公園造りを行う。

(事業概要等)

平成27年度に策定を行った公園長寿命化計画に基づく公園施設の更新を行うとともに、令和元年度に策定を行った公園整備マスタープランにより、地域のニーズにあう公園機能の適切な配置を図ることで、安心・安全で魅力的な公園づくりに努める。

【事業費】

項目／年度	H30 (決算額)	R01 (決算額)	R02 (決算額)	R03 (予算額)	備考
事業費総額(千円)	25,946	84,576	732,160	1,127,065	
うち市負担分(千円)	17,070	38,446	114,647	8,548	

【事業実績・成果】

事業実績(活動指標)・成果(成果指標)	単位	H30年度 実績値	R01年度 実績値	R02年度 実績値	R03年度 目標値
公園の改良、施設等整備数	箇所	7	3	5	3
(指標を設定できない理由)					
(成果の概要)					
快適に利用できる公園づくりのために、計画的な公園施設の更新及び公園の再整備等を行い安心・安全な公園づくりを行うことが出来た。					

【これまで実施した事務の見直し点】

直近の改善点	事業をよりいっそう進めていくために、社会資本整備総合交付金及び都市構造再編集集中支援事業費補助金の活用を行い、また今後も積極的に交付金等を活用し、事業を進めていく。
--------	--

【課題(問題点)】

課題(問題点)	市内公園全体の遊具及び施設等の老朽化が顕著であり、対応に多額の整備費用が必要となる。
---------	--

【今後の方向性】

担当課の評価	A 現行どおり	(左記評価の理由) 今後も、市内に多数ある老朽化した公園施設の更新の為、公園施設長寿命化計画及び公園整備マスタープランに基づく、年次的な改修や更新、再整備が必要である。
改革・改善策等の具体的内容		

事務事業評価シート(概要説明書)

第4次総合計画 の位置づけ	政策名	基本施策名	NO	施策の展開方向
	⑤コンパクトで居心地のよい まちづくり	⑤公園・緑地・河川	2	緑地の確保と親水空間の整備
事業名	みどり維持管理事業		担当課名	都市づくり政策課

【事業の概要】

(事業の目的・趣旨)

人の集う公園・緑・水辺のあるまちをめざし、適正なみどりの維持管理を目的とする。

(事業概要等)

公園、施設及び市道植樹帯の樹木管理、除草等の維持管理を行う。

【事業費】

項目／年度	H30 (決算額)	R01 (決算額)	R02 (決算額)	R03 (予算額)	備考
事業費総額(千円)	51,327	61,369	60,593	67,466	
うち市負担分(千円)	51,327	61,369	60,593	47,962	

【事業実績・成果】

事業実績(活動指標)・成果(成果指標)	単位	H30年度 実績値	R01年度 実績値	R02年度 実績値	R03年度 目標値
高木剪定・伐採	本	989	1,012	973	1,000
(指標を設定できない理由)					
(成果の概要)					
枯木等倒木の危険性のある樹木の伐採や、電線を破断させる可能性の高い樹木等の剪定を実施し、市内公園、施設及び市道植樹帯の樹木の維持管理を行った。					

【これまで実施した事務の見直し点】

直近の改善点	公園等の見回り、樹木剪定、除草、清掃、トイレ清掃等について、別々に発注をおこなっていたが、包括的に委託発注することにより事務作業の減を図ることができた。
--------	--

【課題(問題点)】

課題(問題点)	除草や剪定が必要となる時期が、どの箇所においても同時期となることから、作業が追い付かない状況となっている。
---------	---

【今後の方向性】

担当課の評価	A 現行どおり	(左記評価の理由) 良好な景観を維持し、みどりあふれるまちづくりのため、引き続き公園、施設及び市道植樹帯の適正な維持管理が必要である。
改革・改善策等の具体的内容		

事務事業評価シート(概要説明書)

第4次総合計画 の位置づけ	政策名	基本施策名	NO	施策の展開方向
	⑤コンパクトで居心地のよいまちづくり	⑤公園・緑地・河川	3	市民による緑化推進活動の促進

事業名	緑化推進事業	担当課名	都市づくり政策課
-----	--------	------	----------

【事業の概要】

(事業の目的・趣旨)
人の集う公園・緑・水辺のあるまちをめざし、泉大津市緑の基本計画に基づき、緑あふれる潤いのあるまちづくりの推進にむけて、緑化の推進を目的とする。
(事業概要等)
地域の団体が自主的に実施する緑化等の活動を支援するとともに、生徒・児童等を対象とした絵画コンクール等の普及啓発を行う。

【事業費】

項目／年度	H30 (決算額)	R01 (決算額)	R02 (決算額)	R03 (予算額)	備考
事業費総額(千円)	3,719	3,470	3,829	6,096	
うち市負担分(千円)	3,719	3,470	3,829	0	

【事業実績・成果】

事業実績(活動指標)・成果(成果指標)	単位	H30年度 実績値	R01年度 実績値	R02年度 実績値	R03年度 目標値
緑と花の写生コンクール作品数	点	2,221	2,133	1,744	1,800
緑化ボランティア団体	団体	17	19	20	22
(指標を設定できない理由)					
(成果の概要)					
緑化ボランティア団体により、公園や植樹帯等の緑化・美化活動が行われ、公園等利用者にやすらぎや癒しの空間が提供されている。					

【これまで実施した事務の見直し点】

直近の改善点	緑化ボランティア団体への支援については、これまでアドプトプログラム制度並びに緑化活動助成金制度の2つの制度があったが、団体間での不公平感や煩雑な事務処理の改善を目的に、両制度を統一し、支援内容を活動に応じた報奨金の支給へ変更した。
--------	---

【課題(問題点)】

課題(問題点)	
---------	--

【今後の方向性】

担当課の評価	A 現行どおり	(左記評価の理由) うるおいと安らぎを与えるみどりづくりの推進のため、引き続き、緑化ボランティア団体への支援と写生コンクールを実施し、多くの人に身近なみどりに触れる機会を創出し、みどりの充実を図る屋用がある。
	改革・改善策等の具体的内容	